

日本消防



- ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」
～放送開始から18年目に突入しました～
- 第26回全国女性消防操法大会運営委員会を開催
- 消防育英会奨学金等の改定について

□ 絵 ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」好評放送中！
第26回全国女性消防操法大会運営委員会を開催

巻頭言 「消防団活動の今後について」	（公財）埼玉県消防協会 会長 森田 耕一	1
日消の動き 災害対応への歩み いろいろ	（公財）日本消防協会 会長 秋本 敏文	3
ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」出演者紹介	（公財）日本消防協会	4
特別表彰「まとい」を受賞して 災害に強いまちづくりを目指して	山形県 長井市消防団 団長 渋谷 忠敏	8
特別表彰「まとい」を受賞して 「最強西団」を全員で作り上げていくために！ Next西団！	福岡市消防団 西消防団 前団長 中村 甚司	10
東西南北（北海道）「愛するまちと地域住民を災害から守るため」	音更町消防団 団長 中嶋 康裕	12
東西南北（長野県）「自分たちの地域は自分たちで守る」	飯山市消防団 団長 出澤 重樹	14
東西南北（岡山県）「子々孫々の未来を見据えて」	笠岡市消防団 団長 大本 敏昭	16
シンフォニー（宮城県）「防火・防災の意識を育むために」	白石市消防団 班長 小野 真由美	18
消防団加入促進への取組み 消防団員確保への取組みについて	福島県 郡山市消防団 団長 七海 和浩	20
消防団加入促進への取組み 消防団員が誇りを持ち活動できる環境を目指して	愛媛県 松山市消防団	22
第26回全国女性消防操法大会運営委員会を開催	（公財）日本消防協会	24
消防育英会支援自動販売機の設置状況について	（公財）消防育英会	26
消防育英会奨学金等の改定について	（公財）消防育英会	27
活動事例 消防団「基本技能向上訓練」を実施しました	滋賀県 野洲市消防団	28
活動事例 福岡市中央消防団春吉分団・福岡市消防局中央消防署消防団員 英会話学ぶ	福岡県 福岡市中央消防団・福岡市消防局中央消防署	29
2025年度全国統一防火標語・防火ポスターの発表	総務省消防庁 予防課	30
令和6年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式の開催	総務省消防庁 地域防災室	31
e-カレッジによる防災・危機管理教育	総務省消防庁 防災課	33
風水害に対する備え	総務省消防庁 防災課	34
令和7年度（第41回）防火ポスターコンクール図案募集のお知らせ	（生協）全日本消防人共済会	35
令和7年度（第25回）「防火防災に関する」作文コンクール作品募集のお知らせ	（生協）全日本消防人共済会	36
消防団幹部職章・消防団員章のご案内	（公財）日本消防協会	37
（公財）日本消防協会オリジナル商品	（公財）日本消防協会	41
うちの名物団員	北海道、宮城県、埼玉県、山梨県、長野県、岡山県	43
消防団の広場（山梨県）「地域を守るために」	甲斐市消防団 団長 幡野 耕二	46

編集後記

表紙写真説明

「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」

道の駅おとふけ なつぞらのふる里は2022年4月にオープンし、生産者の思いが込められた豊かな農畜産物を食材とした多くの「美味しいもの」に出会うことができ、広大な敷地と充実した施設により、訪れた皆様にさまざまな体験をしていただけます。

写真提供者：畠山 昇 氏

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 好評放送中！ (公財)日本消防協会

(4頁～7頁に掲載)



第26回全国女性消防操法大会運営委員会を開催

(公財)日本消防協会

(24頁～25頁に掲載)



秋本会長

北崎大会運営委員長



大会運営委員会の様子

卷頭言

「消防団活動の今後について」

(公財)埼玉県消防協会 会長 森田 耕一



1 埼玉県の紹介

埼玉県は、関東平野の内部に位置する内陸県で、東西に約103km、南北に約52km、面積はおよそ3,800km²で山地面積がおよそ3分の1、平地が3分の2を占めています。

気候は、夏は蒸し暑く、冬は乾燥した北西の季節風が吹く日が多いのが特徴で風水害は比較的少なく、全国的に見ても快晴日数が多く、暮らしやすい気候です。

人口は、令和6年12月1日現在733万人、世帯数は、332万世帯です。この県内人口は、総務省統計によると何年か後には、減少傾向に転じるとともに75歳以上の人口の増加率は顕著となり、少子高齢化社会を迎えることと推計されております。

2 埼玉県消防協会について

埼玉県消防協会は、昭和23年8月に財団法人として創立され、平成24年4月1日に公益財団法人に移行し、昨年で創立75年を迎えるました。

当協会は、名誉会長に県知事、顧問2名、評議員16名、理事23名及び監事4名で構成されており、県内64の消防団に13,100人余りの消防団員が在籍しております。

また、県内26消防(局)本部、8,300人余りの消防職員とともに埼玉県内の防災を担っております。

消防協会事業は、県の協力の下に定例表彰式、慰靈祭、隔年開催の消防操法大会をはじめ県消防学校と連携して、消防団員基礎教育、消防団員幹部教育等を行っております。

消防協会独自では、住宅用火災警報器設置推進研修会、女性消防団員を対象とした災害

図上訓練(DIG)、避難所運営訓練(HUG)及び消防団長等を対象とした研修会の開催を行い、県内消防団員間の情報共有の機会を設けております。

さらに、防災知識の普及啓発のため県内各地において、防災アドバイザーを招き、開催地区周辺に特化した防災対策を中心に地域住民に対して防災講演会を開催しております。

中でも今年度の消防団長等の研修会では、日本消防協会より講師をお招きして講演を頂いた後に、県内の消防団長により消防団員加入促進の先進的取組みについて講演を頂きました。

講演後は、消防団員加入促進について盛んな討議を行い貴重な意見を県内全消防団長で共有することができました。

3 近年の災害を教訓に

今日、世界的な気候変動による自然災害が大きな問題となっており、日本においても毎年のようにいわゆる気象災害が全国各地で発災している状況です。

中でも私たち消防団関係者にとって決して忘れてはならない災害は、多くの消防団員が殉職した1991年雲仙普賢岳火碎流災害、発災から今年で30年が経ち緊急消防援助隊の制定に至った阪神淡路大震災、2011年未曾有の大災害であった東日本大震災、さらに2024年元日の能登半島地震など数々の大規模災害があります。

これらの災害について、私たち防災に携わる者は、次世代に伝承しなければならないと考えます。我々消防団や住民の想定を超える大災害が発生した場合、限られた情報に基づ



秩父神社「お元気三猿」

提供 秩父観光協会

いて果敢に状況判断し、迅速的確に対処することが求められるため、経験の少ないあるいは、経験のない場合は、災害体験をした先人から学び、想像力を發揮し、災害対応力を高めることが大切と考えます。

埼玉県では、全県的に災害が発生したことは皆無であることから、隣接行政区域が複数に亘る活動も視野に入れ、顔の見える交流が重要であると再認識しているところです。

のことから、消防団長等の研修会をはじめ全県的に集まる消防団員研修は、リモート会議や研修も交えながらも対面式の研修や訓練の機会を増やし、特に隣接消防団の相互理解を深め、消防団活動がいかなる状況下においても円滑かつ速やかに行われるよう心掛けているところです。

当県は、前述したように山間部、都市部の二面を有すことから、乾燥期に発災する大規模な山林火災や都市部での広域的な自然災害、大規模火災や風水害などの災害にも迅速的確に対応できる体制の確立を常備消防とともに推進してまいりたいと考えております。

さらに、全県的な危機感としての消防団員の確保は、最重要であり喫緊の課題であります。大規模災害団員、機能別団員、機能別分団などを視野に置き、基本団員拡大を中心に見据えて、様々な施策を県及び市町村とともに

に行い、早急に結果に結びつけたいと思っております。

なお、女性消防団員確保対策事業の継続や県内20大学を対象に学生消防団員の確保事業の推進は、継続的に実施した結果、両団員ともに徐々にではありますが、増員している状況です。

4 終わりに

埼玉県西部の秩父地方の総鎮守である秩父神社では、日光東照宮の見ざる、言わざる、聞かざるで有名な「三猿」と対比して、よく見る、よく聞く、よく話すの「お元気三猿」として県民に親しまれているモチーフがあります。このお元気三猿に倣いそれぞれの地域特性である地形や環境をよく見て、住民の声をよく聞き、年代の違う消防団員の意見や考えを十分に聞く、さらに県内消防団間のコミュニケーションを通じて全県的なニーズや動向を十分に把握理解して、今後もさらに県内の防災力向上に傾注してまいりたいと考えております。

結びに、日本消防協会、各都道府県消防協会及び全国の消防団の今後益々のご発展と消防団員皆様のご健勝ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

災害対応への歩み いろいろ

(公財)日本消防協会 会長 秋本敏文

阪神淡路大震災の年、消防庁長官に就任した私は、緊急消防援助隊の創設を進めながら、同時に地域の防災体制の重要性を訴えたり、将来のことを思いながら、当時の消防庁技術系職員のご尽力のもと、幅広いメーカーの方々のご意見を頂いて消防技術の将来予測をまとめたり、間もなく訪れる自治体消防50周年、21世紀の日本消防でどう対応するか、多くの方々のご意見をうかがったりしました。大きな節目の年だなという感じが強かったんですね。

最近もいろいろありますね。日本だけでなく世界中、大地震、大型山火事などがあって驚かされます。令和6年は正月早々から能登半島での地震、津波、地盤隆起、火災があり、令和7年は岩手県大船渡市などで大変な山火事がありました。政府におかれても総合的な防災体制や大型山火事対策など検討を進めておられます。

全国の消防関係の皆さんもこれから対応が大変気がかりだと思いますから、日消としてもいろいろ考えて、令和7年の国際会議としては、7月2日、「山火事など世界災害」国際会議を開催しようと思っています。最近は、日本だけでなく、アメリカのカリフォルニア、地中海沿岸諸国などでこれまでにない大規模な山火事が発生しています。勿論、山火事以外にも大洪水が発生している国もあります。このような大規模災害の状況、各国消防の活動状況、残された課題等について、10か国近くの代表から発表して頂き、さらに議論を深めて、我が国にとっても参考になる情報を得ることをめざす、そのような会議にしたいと思っています。

また、9月には、「地域防災総合力の発揮」というような会議の開催を考えています。地域防災体制の充実強化は、我が国消防防災体制の重要な課題であり、昨年11月にもその充実を考える大会を開催したのですが、消防団員や女性防火クラブメンバーなど、地域防災の重要な担い手が急激に減少しており、その対応が重要な課題であることを意識しながら、地域消防のいわば「総合力」充実をめざすという視点のもとに議論を深めてまいりたいと考えています。

このようなことの積み重ねのなかで、日本消防協会としては、全国各地の皆さんのご意見をうかがいながら、日本消防の一層の発展に貢献できるよう、新会館の運営に努力しなければならないのですが、その過程で、日本消防防災情報センターの展示についても、時代の変化、世界、国内の活動発展の状況など、一層の充実をめざさなければならないでしょう。このようなことについて、いろいろな方々のお知恵や素材提供などのご協力が不可欠です。まさにオール消防の結晶であることが必要です。

こうした経過を進めていきますと、大きな変化を背景とする日本消防のこれからの方についての総合的な検討の現代版も必要かもしれません。

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 出演者紹介

(公財)日本消防協会

日本消防協会では、芸能界、スポーツ界等の著名な方々により結成された「消防応援団」のご協力を得て、全国各地で頑張っている消防団員にエールを送るとともに、一般の方々にも消防団活動等について理解を深めてもらうため、消防団に関するラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」を放送しています。

今回は、令和7年2月から令和7年4月までに放送した出演者を紹介します。

なお、放送した番組は、日本消防協会のホームページで聴くことができます。



令和7年2月放送分に
出演の消防応援団
浅香唯さん

2月1日又は2日放送



高知県
高幡消防組合中土佐消防団
班長
岩瀬 和廣さん

消防団の広報ということで少し緊張もありましたが、ご担当のみなさんはもちろん、浅香唯さんからもお声掛けをいただき、リラックスして収録に臨むことができました。

ラジオを聴いてくださるみなさんに、すこしでも中土佐町のことや消防団のことが伝われば嬉しく思います。

2月8日又は9日放送



沖縄県
沖縄市消防団
分団長
金城 里奈さん

沖縄人の『いちゃりばちょーでー』で、他の関係団体とも連携を図り、沖縄市民の消防、防災意識の向上のため、仲間と楽しく活動をしていきたいと思います。ありがとうございました。
※ 「いちゃりばちょーでー」方言で「一度会えば皆兄弟」一期一会という意味です。

2月15日又は16日放送



兵庫県
三田市消防団
部長
金光 誠さん

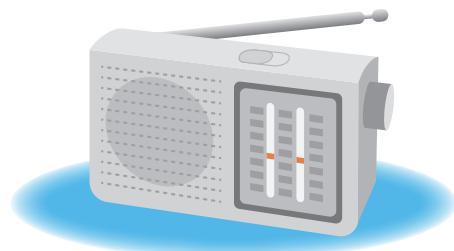
ラジオで三田市消防団を紹介いただきありがとうございます。三田市消防団は「負担をやりがいに」をテーマに、市民に安心安全を届け、ありがとうと笑顔をもらえる活動に邁進いたします。

2月22日又は23日放送



神奈川県
三浦市消防団
団長
伊藤 克己さん

この度は、三浦市消防団をご紹介いただき有り難うございました。初期消火に有効な「スタンドパイプ」や自然災害に対応するためのジャッキ、バール、スコップなどの消防団への配備など。どんな時でも市民の一番身近な消防団で有り続けたいと思います。



令和7年3月放送分に
出演の消防応援団
里崎智也さん

3月1日又は3月2日放送



奈良県
奈良市消防団
団員
竹田 徳久さん

ラジオ出演を通じて、情報発信の重要性を強く感じました。消防団の活動やドローン部隊の役割を広く知ってもらうことで、地域の防災意識が高まり、災害時に迅速かつ効果的な対応が可能になると思います。今後も、訓練を重ね、地域の安心安全を守れる消防団として活動します。

3月8日又は9日放送



山形県
高畠町消防団
団長
青木 道春さん

この度はラジオ出演という貴重な機会をいただき、ありがとうございました。番組をとおして消防団活動の紹介や、全国の消防団の皆さんにメッセージをお届けできることを大変感謝しております。これからも頑張っていきましょう。

3月15日又は16日放送



大分県
大分市消防団
部長
富高 幸子さん

子ども向けの防火防災教育で使用している大分市オリジナル防災紙芝居についてお話しをさせて頂きました。全国女性消防団員活性化大会でも発表し、セリフが上手！絵が綺麗！など高い評価を頂けた紙芝居です。『助かる命を助からない命にしないために』これからも活動していきたいと思います。

3月22日又は23日放送



東京都
石神井消防団
班長
軽部 哲史さん

ラジオ出演の依頼があり、初めてこの番組の存在を知りました。出演のため番組を聞いてみたところ、内容が面白く、全国の消防団の特徴を学ぶことができ、この番組をもっと周知させていきたいと思いました。



令和7年3月最後の週と4月放送分に
出演の消防応援団
関根麻里さん

3月29日又は30日放送



静岡県
袋井市消防団
副団長
鈴木 健嗣さん

ラジオを通していろいろなことがお伝えできたかと思いま
す。

特に時代の変化に合わせて前向きに活動する袋井市消防団
について、全国の皆さんに伝われば幸いです。

今後も地域防災に携わる組織として日々成長しながら楽しく活動する袋井市消防団をよろしくお願いします。

4月5日又は6日放送



愛媛県
四国中央市消防団
部長
久門 美紀子さん

子育て世代の関根麻里さんが子ども同伴での救命講習会の活動に共感してください、嬉しかったです。今後も愛媛県四国中央市消防団を私たちが活性化させるんだと言う強い思いで仲間と共に頑張っていきたいと思います。貴重な経験をいただきまして、ありがとうございました。

4月12日又は13日放送



宮崎県
宮崎市消防団
分団長
長谷川 秀行さん

今回は、とても貴重な経験をありがとうございました。
ひろたさん、関根麻里さんと宮崎市消防団の取り組みを全国に発信することができました。大変緊張していましたが、とても楽しいラジオ収録でした。

これから分団長として団員の安全、地域の安心・安全のため頑張ってまいります。

4月19日又は20日放送



北海道
帯広市消防団
班長
河瀬 祐さん

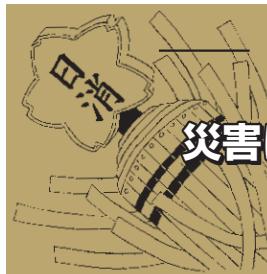
この度は帯広市消防団をPRさせていただく機会をいただき、本当にありがとうございました。

ひろたさんと関根さんが、とても和やかな雰囲気でお話ししてくださいましたので、とても楽しい収録でした。

これからも広大な十勝平野で地域の防災リーダーとして消防団活動を頑張っていきます！

「おはよう！ニッポン全国消防団」放送日時

地方	県	放送局	放送日	放送時間	備考
北海道	(株) S T V ラジオ	日	5:50~6:00		
東北	青森	青森放送(株)	日	7:20~7:30	
	岩手	(株) I B C 岩手放送	日	6:15~6:25	
	宮城	東北放送(株)	土	5:00~5:10	
	秋田	秋田放送(株)	日	6:15~6:25	
	山形	山形放送(株)	日	6:20~6:30	
	福島	(株) ラジオ福島	土	5:40~5:50	
	新潟	(株) 新潟放送	日	7:40~7:50	
関東	東京	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	神奈川	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	埼玉	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	群馬	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	千葉	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	茨城	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	栃木	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	山梨	(株) ニッポン放送	日	6:15~6:25	
	長野	信越放送(株)	日	6:50~7:00	
中部	福井	福井放送(株)	日	6:10~6:20	
	石川	北陸放送(株)	日	7:35~7:45	
	富山	北日本放送(株)	日	6:10~6:20	
	三重	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	愛知	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
	静岡	東海ラジオ放送(株)・ニッポン放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:15~6:25	一部地域は東海ラジオ放送
	岐阜	東海ラジオ放送(株)	土	5:30~5:40	
近畿	京都	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	大阪	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	兵庫	大阪放送(株)	日	6:00~6:10	
	奈良	(株) 和歌山放送・大阪放送(株)	土・日	6:30~6:40 6:00~6:10	一部地域は大阪放送
	滋賀	東海ラジオ放送(株)・大阪放送(株)	土・日	5:30~5:40 6:00~6:10	一部地域は東海ラジオ放送
	和歌山	(株) 和歌山放送	土	6:30~6:40	
中国	鳥取	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	島根	(株) 山陰放送	土	5:30~5:40	
	岡山	西日本放送(株)・(株) 中国放送	土・日	7:35~7:45 5:30~5:40	一部聞きづらい地域があります。 一部地域は中国放送
	広島	(株) 中国放送	日	5:30~5:40	
	山口	山口放送(株)	土	6:50~7:00	
四国	徳島	四国放送(株)	土	6:40~6:50	
	香川	西日本放送(株)	土	7:35~7:45	
	愛媛	南海放送(株)	日	6:55~7:05	
	高知	(株) 高知放送	日	6:40~6:50	
九州	長崎	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	福岡	九州朝日放送(株)	日	6:15~6:25	
	大分	(株) 大分放送	日	6:45~6:55	
	佐賀	長崎放送(株)	土	7:25~7:35	
	熊本	(株) 熊本放送	土	6:50~7:00	
	宮崎	(株) 宮崎放送	日	6:20~6:30	
	鹿児島	(株) 南日本放送	土	8:30~8:40	
	沖縄	(株) ラジオ沖縄	日	6:35~6:45	



特別表彰「まとい」を受賞して

災害に強いまちづくりを目指して

山形県 長井市消防団 団長 渋谷 忠敏



1 はじめに

この度、令和7年3月7日に行われました第77回日本消防協会定例表彰式において、消防団として最も栄誉ある特別表彰「まとい」を受賞いたしました。このような栄えある表彰を受賞したことは、この上ない喜びであり、今後一層の消防団活動の励みとなりました。

本受賞は、ひとえにこれまで長井市消防団を築いてこられた諸先輩方や現団員の功績が認められたこと、また、消防関係者の皆様方や団員の御家族、そして地域の皆様からの御理解と御協力の賜物であり、心から感謝申し上げます。

2 長井市について

長井市は山形県南部に位置し、西に葉山連山、東に出羽丘陵を眺める長井盆地の中にあります。「長井」の地名の由来は、「水の集まるところ」。その名が示すように、朝日山系を源とする野川、飯豊山系を源とする白川、吾妻山系を源とし、市街地を南北に貫流する最上川と、3つの河川がまちを囲むように流れしており、江戸時代には最上川の舟運により商人町として栄えました。



また、春には、樹齢1200年と言われる「伊佐沢の久保桜」、「草岡の大明神桜」が満開に咲き誇り、初夏には純白の「白つつじ」、500種100万本の「あやめ」が夏の訪れを告げます。

船運文化残る街並みと緑豊かな自然、そして四季の移ろいとともに可憐な表情を見せる花々に囲まれる長井市は「水と緑と花のまち」として人々の暮らしを彩っています。

3 長井市消防団の紹介

長井市消防団は、団長以下副団長2名、6つの分団で構成され、令和7年4月1日現在593名の消防団員が所属しています。消防用車両等の設備については、消防ポンプ自動車6台、多機能型車両1台を各分団に配備するとともに、軽ワゴン車をベースとした積載車を計22台、軽トラックをベースとした資機材搬送車を計29台配備しており、いずれの車両にも小型動力ポンプを積載しています。

なお、現在、女性消防団員が19名所属しており、主に防火啓発活動に取り組んでいるほか、今後起こりうる大規模災害への備えを強化するため、令和6年には機能別消防団員制度を導入し、災害対応能力の向上及び消防団員の確保に努めています。



また、本市消防団では、ヘルメットや耐切創手袋といった個人装備品をはじめ、各種災害に対応し得るよう防火衣やライフジャケット等の整備を進めるとともに、効率的な現場活動を目指し、ホースバッグを導入する等、装備や資機材の充実化にも取り組んでいるところです。

4 長井市消防団の活動

本市消防団は、火災発生時における消火活動や警戒、台風や豪雨時における水防活動等、各種災害対応はもとより、年間の訓練計画に基づき、消防演習や消防出初め式、消防ポンプ機関講習等、消防力の向上に向け、各種訓練に取り組んでいます。また、次世代の消防団リーダー育成を図るため、山形県消防学校での消防団員教育（指揮幹部科（分団指揮課程）、指揮幹部科（現場指揮課程）、初級幹部科）や地元自動車学校と連携した安全運転技能講習等、様々な角度から知識や技術の取得に励むとともに、こうして得られた知見を後世に伝承すべく、伝達講習会を開催しています。

さらに、毎年春秋の火災予防週間における防火巡回や各種イベントにおける火元警戒等、年間を通じた火災予防活動、令和6年には地域住民の防火防災意識の醸成を図るために、市内の遊戯施設と連携した防災イベントを開催する等、予防消防の推進にも注力しながら取り組んでいます。

近年、頻発、激甚化する自然災害は、決して他人事ではなく、いつ、どこでも起こりうる可能性があります。実際に本市においても、令和4年8月の豪雨災害では、線状降水帯の

発生や県内初となる大雨特別警報発令など、これまでに経験したことのない未曾有の事態となり、市内各所で河川の越水や道路冠水、住家被害等の甚大な被害が生じました。そうした中、昼夜にわたり排水作業や積み土のう活動等、懸命な消防活動の結果、幸いにも人的被害は発生することなく、被害を最小限に食い止めることができました。なお、この災害では、延べ794名の消防団員が活動し、こうした功績が認められ、令和5年9月には「令和6年度防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞いたしました。

5 終わりに

消防団は地域防災力の要であり、地域の安心安全のために必要不可欠な存在です。本市においても、長井盆地西縁断層帯を震源とする大規模地震のほか、大雨による災害等も懸念されており、地域住民の消防に寄せる期待は高まっているものと感じております。長井市消防団としましては、今後ともこうした地域住民の負託に応えるべく、より一層の研鑽を重ねるとともに、団員一致団結のもと、精進してまいります。

結びになりますが、この度の受賞にあたり、格別の御高配を賜りました日本消防協会をはじめ、山形県消防協会、日頃より御支援いただいております消防関係者及び御家族の皆様に深く感謝申し上げるとともに、皆様方の今後益々の御発展と御活躍を祈念申し上げ、受賞の挨拶といたします。





1 はじめに

令和7年3月7日(金)、第77回日本消防協会定例表彰において、福岡市西消防団は、全国2,100余りの消防団の中から最高の栄誉である特別表彰「まとい」を受賞いたしました。私たち西消防団がこの栄誉を手にすることにつながったのは、長年にわたる活動が地域社会に対して確かな成果を上げ、地域の皆様の信頼を得てきたからに他なりません。また、この受賞が私たちの努力の結晶であり、団員一人ひとりの献身的な活動が評価された証であることを深く実感しております。

この栄誉は決して一朝一夕に得られたものではなく、団員一人ひとりが共に努力を重ね、協力し合い、地域の安全を守り続けてきた結果です。その過程では困難な場面も多々ありましたが、仲間たちと共に支え合いながら、一つひとつ乗り越えてきたことが、今回の成果に繋がったと感じています。また、団員だけでなく、指導力を發揮し続けてくれた諸先輩の方々、私たちの活動を支えてくださったご家族や地域の皆様、そして全ての関係者の皆様のご理解とご協力があってこそこの成果であり、この場を借りて心より感謝申し上げます。

2 第21回全国消防操法大会優勝の誇り

西消防団は9つの分団で組織され、それぞれに特色があります。その中でも、元岡分団は平成20年に開催された全国消防操法大会で見事に優勝を果たしました。この優勝は、団員一人ひとりの努力と協力の成果であり、また、当時の消防署と消防団の連携した指導力

が大きな役割を果たしました。優勝の瞬間は、団員全員にとって大きな誇りであり、地域の安全を守るために重要な一歩となりました。

またこの優勝は、元岡分団だけでなく、西消防団全体の技術力や連携力を証明するものであり、地域の安全を守るために必要な訓練の成果が実を結んだ瞬間でもありました。さらには、団員にとって自信と誇りをもたらし、その後の活動にも大きな影響を与えました。団員たちは、これまでの努力が結果として現れることを実感し、さらなる技術向上を目指して努力を惜しまない決意を新たにしました。



元岡優勝(分団長中村甚司)

3 スローガン「最強西団」と新たな取り組み

現在、令和5年に掲げたスローガン「最強西団」に基づき、西消防団の強化に取り組んでいます。「最強西団」とは、決して対外的に優劣を求めたり比較したりするものではなく、内外の災害対応能力の向上をはじめ、団結力や統率力の強化、伝統技術の発展を目指すものです。

このスローガンに基づき、団員一人ひとりのモチベーションを高く維持し、自発的に成果を上げていける環境の構築を最優先にしています。団員の意識を高め、全員が協力し合い、地域の安全を守るために尽力することが「最強

西団」の実現に繋がると考え、そのために、各分団長が強いリーダーシップを發揮し、分団を引っ張っていけるよう日々努力しています。

令和6年度には、「指差呼称」と「行動呼称」をこれまで以上に徹底し、小型ポンプ操法訓練を改良した実戦操法訓練を実施しました。これにより、実際の災害現場に即応できる安全性と確実性さらには安全管理にも重視した訓練を行い、団員の連携力や迅速な対応力も向上しました。

これからも、さらなる訓練と工夫を重ね、「最強西団」を実現していくための努力を惜しまない所存です。



BFC活動



実戦操法訓練

4 伝統技術の発展と地域との繋がり

伝統技術の発展も、西消防団にとって非常に重要な取り組みの一つです。

令和5年には《西消防団の伝統技術を皆様の心に響かせます》という思いを込めた「西響会」を開催しました。このイベントは、西消防団の木遣り会、纏会、太鼓会及び福岡市消防局音楽隊と合同演技披露を行い、地域住民や消防関係者の皆様のご協力をいただき開催した結果、

600人以上の来場者を迎えることができ、地域の安全意識を高める良い機会となりました。

令和7年には、さらに規模を拡大し、2回目となる「西響会」の開催を予定しています。このイベントは、地域住民との絆を深め、消防活動へのご理解とご協力を促進するための一歩として位置付けています。また、伝統技術の保存及び発展に努めることは、地域社会との連携を強化するための重要な手段となります。これからも、地域の方々と共に歩みながら、消防団の伝統を守り、未来へと繋げていく所存です。



西響会

5 最後に

特別表彰「まとい」を受賞することは、西消防団の活動が地域社会に対して認められた証であり、その責任の重さを痛感しております。今後も団員一丸となって、特別表彰「まとい」受賞に恥じぬよう、「最強西団」の実現に向けて邁進し、地域の安全と安心を守るために全力を尽くしていきたいと考えております。

この受賞が私たちにとって新たな出発点となり、さらなる発展を遂げることを願っています。

最後に、今回の特別表彰「まとい」受賞にあたり、特段のご高配を賜りました日本消防協会、福岡県消防協会をはじめ、消防関係機関各位に厚く感謝申し上げます。また、地域の皆様方の温かいご支援とご協力に心より感謝し、今後とも共に地域の安全を守るために力を尽くしていきたいと思います。

皆様方のご活躍を心より祈念いたしまして、受賞の挨拶とさせていただきます。



音更町消防団 団長 中嶋 康裕



1 音更町の紹介

音更町は北海道の東部、十勝平野のほぼ中央に位置し、面積466.02平方km、人口約42,700人で、北海道内の町村では最も人口の多い町です。

東部を南北に走る丘陵地帯を除いてはおおむね平坦で地質もよく、小麦、ビート、馬鈴薯、豆類など各種農産物を育成する道内でも屈指の穀倉地帯です。

十勝川のほとりにある十勝川温泉は世界的にも珍しいモール(植物性)温泉として知られ、平成16年11月に北海道遺産に指定されました。

町内には、モール温泉を楽しめるスパなどが人気の「道の駅ガーデンスパ十勝川温泉」があるほか、2022年4月にオープンした「道の駅おとふけなつぞらのふる里」は年間120万人以上が訪れ、今年3月には入場者数400万人を達成するなど、四季を通して観光客が訪れています。

2 音更町消防団の紹介

大正9年に音更消防組として創設されて以来、音更警防団、音更村消防団、消防事務組合への編入などを経て、平成28年4月1日から音更町消防団として活動しています。令和2年7月1日には創設100周年を迎え、翌年6月27日に記念式典を挙行しています。

現在は消防団本部と8の分団、定員数159名・実員数147名で、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき日々の消防団活動に取り組んでいます。

3 音更町消防団の活動

音更町消防団では、分団ごとに訓練計画を作成し年18回の定期訓練を実施しています。これに加え、毎年1月に消防出初式、6月に消防団総合演習、9月には大規模災害を想定し地域の自主防災組織、自衛隊、建設業協会など多数の関係団体と連携した防災の日総合訓練を実施しています。

このほか、幹部消防団員が先進地の消防団を訪問し、幹部としての意識啓発及び地域防災力を充実強化するための幹部視察研修、団員の階級にあるものを対象に、消防団員としての心構え、安全管理を学ぶための消防団員教養研修などを実施し、多種多様な災害に対応するため日々研鑽しています。

令和5年10月19日には、第75回北海道消防大会が音更町で開催され、北海道内各地から消防関係者が約1,200名参加しました。本大会では、音更町消防団が消防団活動事例発表を行い、「消防団の持続可能な組織運営～団員のなり手確保について」と題して、団員数を確保するための課



第75回北海道消防大会

題や様々な取り組みを発表しました。具体的な取り組みの内容として、消防団員募集中と記載したのぼりや懸垂幕の作成及び設置、一般住民を対象とした防火イベント「おいでのよ防火広場」の開催、町内の夏祭りや「十勝川イカダ下り」など地域のイベントに参加し団員募集のPR活動、救急講習に応急手当普及員の資格を有している女性消防団員を講師として派遣するなどの活動を行っています。また、平成30年度からは学生消防団活動認証制度を導入しており、一定期間消防団員活動を行った大学生などには、地域活動への貢献などの功績を証明する「学生消防団活動認証状」と「学生消防団活動認証証明書」を交付しています。



おいでのよ防火広場

4 結びに

近年、全国各地で風水害や地震など多種多様な災害により甚大な被害が発生しております、地域防災の要である消防団の重要性はより一層高まっています。大規模災害時には多くのマンパワーが必要となるため、消防団員数確保は喫緊の課題であります。欠員がいる状況が続いているのが現状です。

愛するまちと地域住民を災害から守るために、今後も消防団員数確保に向けた取り組みを継続するとともに、消防力の向上と技術の練磨に努め、日々の活動に精励していきたいと思っております。



防災の日総合訓練



「自分たちの地域は 自分たちで守る」

飯山市消防団 団長 出澤 重樹



1 飯山市の紹介

飯山市は、市域面積202.43km²の長野県内で最も低い千曲川沖積地に広がる飯山盆地を中心に、西に関田山脈・東に三国山脈が走る南北に長い地形をもっており、南西部には斑尾高原、北西部には鍋倉山、東部には北竜湖などがあり、多くの自然資源に恵まれた地となっています。人口は約1万8千人、市の文化・市民性としては、江戸時代から続く寺町文化・雪国らしい連帯と協調の精神があげられ、名僧正受老人の正受庵をはじめとする寺社景観、斑尾・戸狩などのスキー場、千曲川、北竜湖などの自然資源とあわせて、四季の変化とその折々の景観の豊かさのある日本のふるさとにふさわしい豊かな風土と魅力をつくりだしています。

主要交通網として、国道117号・292号・403号が市内を走り、長野市から新潟県十日町方面へJR飯山線が走っています。また、平成27年3月には北陸新幹線が金沢まで延伸し、北陸新幹線飯山駅が開業し、今年(令和7年)3月で10周年を迎えることとなりました。

2 飯山市消防団の紹介

現在、飯山市消防団は1本部、9分団で構成され、団員の条例定数は780名です。団本部は団長以下5名の本部員の他に、

救助隊、救護隊、ラッパ隊及び女性分団で構成されています。昨今、中核を担う世代の消防団員が減少傾向にあることや、住居と職場の距離が離れておりすぐに駆けつけられない団員の増加など、団員確保が年々厳しい現状である一方、災害の多発化・激甚化により、住民の消防団へ寄せる期待や役割は益々大きなものとなっています。そのため令和5年3月に策定した「飯山市消防団処遇等改善計画」に基づき「消防団員の年額報酬等の見直し」、「消防団員の条例定数の見直し」、「機能別消防団員制度の導入」、「消防団行事、訓練や区等行事への協力」、「消防車両運転にかかる体制整備」、「消防団員に対する安全装備品等の充実」の改善を順次実施し、団員を確保すると共に魅力ある消防団づくりを目指して、地域防災力の充実、強化を図っています。令和6年1月には不足する団員数を補うため、OB団員を中心とした機能別消防団員を導入しました。

3 飯山市消防団の活動

飯山市消防団では災害現場で必要となる知識、技術の習得、さらに団員の士気高揚と市民の防火・防災意識の普及啓発を図ることを目的に、年間を通して様々な行事や訓練を行っています。団員への負担も消防団員確保を困難としている要



飯山市消防団フェスタ



排水ポンプ訓練



水防訓練



応用訓練

因の一部であることから、行事、訓練は半日を目途に時間短縮するように努めています。又、消防団は区との関わりが強く、道祖神祭りの警戒、警備などの区行事への協力も行っています。昨年11月には消防団の活動を広報し、地域の防災意識を向上させる取り組みとして、飯山市消防団フェスタを開催し多くの方にご来場いただきました。

4 最後に

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震から1年が経ちました。近年、頻繁に起こる大規模災害による甚大な被害を通じ、改めて消防団の重要性と市民からの期待、関心は高まっています。

そうした中で人口減少により、新入団員の確保は年々困難な状況になっています。

現在の消防団の置かれる環境を見直すと共に、団員確保に向けた消防団をアピールする取り組みについてもいっそう力を入れていく必要があります。その中で、令和6年度より新たに開催した「飯山市消防団フェスタ」をはじめ、地域へ消防団活動のPRや防災と触れ合える機会を提供しました。こうした取り組みを通じて「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識を消防団から地域の皆さんに発信していく、根付いていくことが飯山市の地域防災力の向上に繋がると思います。

これからも地域を守る消防団として、飯山市消防団一丸となって進んでいきます。



「子々孫々の 未来を見据えて」

笠岡市消防団 団長 大本 敏昭



1 笠岡市の紹介

笠岡市は、岡山県の南西部、広島県福山市と岡山県倉敷市の間に位置するまちです。

緑豊かな「北部」、国道やJRが通り便利な「市街地」、瀬戸内海に面した「南部」とコントラストがあり自然豊かで住みやすいのが特徴です。また、笠岡市は、瀬戸内海に面した7つの有人島を保有しております、海水浴や観光などが人気です。加えて日本で2番目に大きい笠岡湾干拓地には道の駅があり、隣接する花畠で四季折々の花が咲き誇ります。

2 笠岡市消防団の紹介

笠岡市消防団は団本部と15分団で構成されており、条例定数980人に対して、858人(内女性30人)の団員が活動しています。女性消防団員は、主に団本部に属し各種イベントでの団員募集、火災予防啓発及び応急手当普及員等での活動を実施しています。また、笠岡市の有人島にも消防団の詰所があり、災害時の初動対応及び救急支援活動等多岐にわたり活躍しています。

平成4年に笠岡市で開催された第40回岡山県消防操法訓練大会に花を添えるため、笠岡市消防団ラッパ隊が結成されました。今日まで30年以上消防出初式及び各種研修会等で演奏し、年間を通じて笠岡市消防団のPR活動を行っています。



ファジアーノ岡山及び県と連携した消防団PR動画撮影



笠岡市消防団ラッパ隊

3 笠岡市消防団の活動について

昨年度の主だった行事を紹介します。

4月：辞令交付式・入団式、5月：笠岡市水防訓練、6月：幹部、救助・予防広報担当者研修、緊急車両運転研修、7月：岡山県消防操法大会、8月：花火大会警戒、11月：岡山県総合防災訓練(笠岡市開催)、12月：年末特別広報、1月：笠岡市消防出初式、文化財防火デー消防訓練、2月：笠岡市林野火災消防訓練を実施しました。中でも11月開催の岡山県総合防災訓練は、岡山県南部で震度6強の地震に加え、沿岸部で2～3mの津波が発生したとの想

定で、多数の関係機関と連携した大規模な訓練となりました。笠岡市消防団は島しょ部のドクターへリ警戒、自衛隊及び県機動隊と連携した倒木除去、土砂撤去、埋没車両の救出を担当し、貴重な経験を積むことができました。このように笠岡市消防団は、年間を通じて訓練・研修を実施し、地域防災のリーダーである消防団の資質向上に努めています。



第70回岡山県消防操法大会参加



岡山県総合防災訓練(倒木除去)

4 笠岡市消防団の課題

笠岡市消防団の課題は、他市町村と同様に団員数の減少と高齢化です。笠岡市の人口は、昭和34年の約7万3千人をピークに緩やかに減少を続け、令和7年1月末日現在で約4万4千人となっています。消防団員数も人口減少と比例して減少しており、令和7年度は令和6年度に引き続き過去最少となる見込みです。平均年齢も48.2歳、島しょ部団員は58歳と、全国平均の44歳に比べ高くなっています。

これらの課題解決のため、平成23年度から笠岡市消防団活性化委員会を立ち上げ、団員やその家族の労をねぎらうための親睦事業や各種イベントでの団員勧誘チラシ配り等を実施してきました。こうした努力により、市内の人口と比較して団員数の減少は緩やかになっておりますが、根本的な解決には至っておりません。若年層の団員獲得には新しい広報の必要があると考え、SNSやホームページの活用を検討中です。

また支給する装備品の拡充、団員数の減少により単独での活動が困難になっている部の統合、定年制の廃止等を実施し、処遇改善に努めています。

5 おわりに

昨年は、石川県能登地方で最大震度7を観測する地震が発生し、激しい地震動のほか、津波等による深刻な被害がもたらされました。また、8月には宮崎県日向灘を震源とする震度6弱の地震も発生し、いよいよ南海トラフ地震へ繋がるかとも危惧されました。自然というものは、人知を超えた存在で、災害は無慈悲に襲ってくるものだと改めて感じるとともに、大規模地震が発生した際に、我々消防団が地域防災力の中核として、一致団結し一つでも多くの命を救えるよう、また、その被害を少しでも軽減できるよう、組織の強化に向けて決意を新たにした次第であります。

我々消防団は、地域の安全・安心の確保という使命のもと、日頃から地域に密着し、住民の信頼と負託に応える存在であり続けなければなりません。「今」だけに執着することなく、子々孫々の未来を見据えた、柔軟さと強さを兼ね備えた組織として、笠岡市消防団はこれからも歩み続けて参ります。



シンフォニー（宮城県） 「防火・防災の意識を育むために」

白石市消防団 班長 小野 真由美

白石市の紹介

白石市は、宮城県の南端に位置し、西は奥羽山脈、東は阿武隈山系に囲まれた自然豊かなまちです。

本市のシンボルである白石城は、伊達家の家臣、片倉家の居城として知られ、明治7年に一度は解体されましたが、平成7年に天守閣と大手門が日本古来の建築様式で史実に忠実に復元されて以来、市の観光名所として多くの方々から親しまれております。

白石城のほかにも、製造過程で油を使用してないため体にやさしい「白石温麺」や、頭部や胴部に描かれたろくろ線と鮮やかな色付けが特徴の「弥治郎こけし」など、魅力ある特産品も有名です。

東北地方、宮城県にお越しいただいた際には、今もなお、歴史ある街並みが残る私のふるさと白石にぜひお立ち寄りください。

白石市消防団について

白石市消防団は、昭和29年4月1日に1町6ヶ村が合併し白石市が施行されたことに伴い、各町村の消防団が統合され発足されました。また、昭和32年に小原村と合併したことで、本部と8分団で構成される現在の白石市消防団となりました。

白石市消防団発足から70年を迎えた令和6年4月1日時点では、団員543名が在籍し、団員それぞれが自分たちの住むまちとそこに住もう人々を火災、災害から守りたいという郷土愛護の精神を持って

日夜活動しています。

私が所属する女性班は、平成30年に発足、現在7名で活動し、市内園児を対象とした防火防災啓発活動、消防演習と出初式での受付や表彰の介添えのほか、白石市消防団の活動や防災知識を紹介する「白石市消防団だより」を発行し、地域の皆さんに消防、防災に関する情報をお届けしています。



広報新聞

第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会の参加

全国女性消防団員活性化大会の存在は以前から知っていましたが、過去2年は遠方での開催だったため、参加できずにいました。

そのような中、平成29年に日本消防会館で行われた研修で知り合った方から令和6年度は栃木県で開催するという情報が入り、「行くなら今回しかない！」と思い市職員に相談し、参加できることとなりました。

大会当日は、全国各地から女性消防団員が集まり、パネル展示や活動事例の発表、パネルディスカッションなどが行われました。事例発表で紹介のあった人形にかつらや服を着せて実在する人間に近いかたちで心臓マッサージをする救命指導や、園児が楽しく学べるように腹話術人形を使った防火教育などの創意工夫を凝らした活動は、幅広く活躍されている皆さんのが努力の賜だと感じ、とても刺激を受けました。

全国の女性消防団員の皆さんのが持つ消防団活動への熱意に圧倒されている自分もいましたが、「この貴重な機会を次に活かしたい」という想いと、「1つでも多く私たちの活動に取り入れられるものを学んで帰りたい」という強い気持ちで、各消防団の広報新聞を手に取りました。そこに載っていた「防災レシピ」では、災害時でも簡単に作れる料理を紹介しており、家庭から防災力をアップできる素晴らしい取り組みだと衝撃を受けました。

今回、大会に参加して得た知識は、これから私たちの今後の活動に必ず活きてくるものばかりでした。今後、県内や隣県で開催することがあれば、その時代にあった知識にアップデートするためぜひ参加したいと思います。



とちぎ大会

今後の活動について

全国女性消防団員活性化とちぎ大会に参加して、今後の活動に特に取り入れたいと思ったのが、市内の園児を対象に水

消火器を使った消火訓練や、スモークマシンを使った避難訓練など、体験型の防火啓発活動です。

私たちのこれまでの防火防災啓発活動では、紙芝居で火災、災害の恐ろしさを伝えてきましたが、紙芝居と合わせて水消火器などで子どもたちに体を動かして体験してもらえば、より一層子どもたちの記憶に残ってくれると思っていました。

この度、日本消防協会の消防団防災学習・災害活動車両交付事業により、水消火器や煙体験テントなど体験学習に活用できる防災学習用資機材が交付されることになりました。さっそく班で話し合い、まずは水消火器体験と煙体験を市内園児を対象とした防火防災啓発活動に活用することにしました。

これまでとは違う啓発活動になるため多少不安もありますが、子どもたちが成長しても忘れずに、心と体に残るような啓発活動を目指して取り組んでいきます。



広報活動

おわりに

私たち女性班は、実際に火災現場で消火活動を行うことはありませんが、火災をなくし、自分たちが住むまちの安心、安全を守りたいと思う気持ちは、現場で活動する団員の皆さんと変わりません。

今後とも、女性班で行っている消防団の広報や、市内園児を対象とした防火防災啓発活動をとおして、市全体の防火、防災に対する興味や知識を育むことで地域に貢献できるよう邁進してまいります。



消防団員確保への取組みについて

福島県 郡山市消防団 団長 七海 和浩

郡山市は福島県の中央部にあり、東北第2位の人口規模を誇る都市です。

また、交通の要衝にあり、人・モノ・情報が常に交流していることから、「陸の港」と呼ばれています。

郡山市消防団は、令和7年4月1日現在、1団、15地区隊、52分団、132班で組織されており、郡山市の地域防災の要として日々消防団活動に従事しておりますが、全国的な傾向と同様、団員の高齢化と団員数の減少に歯止めがかかるない状況となっており、令和7年4月1日現在、条例定員2,500名に対し、実団員数1,910名と大きな乖離が生じております。

このような状況の中、本市消防団としても積極的に団員確保に向け取組みを進めております。

1 学生団員募集の取組み

郡山市には日本大学工学部、郡山女子大学、奥羽大学の他に多数の専門学校があり、市外在住の学生も多く通学しております。令和2年度には、団員確保の面口拡大のため、市外在住であっても市内に通学する者については消防団員となれるよう市条例を改正しました。

このような中、令和4年度には、女子大学生の発信力や若年層への活動の周知に期待し、郡山女子大学へ団員募集を依頼したところ、ボランティア活動に興味があった学生が入団し、その後、同級生3名にも入団していただきました。当該女子大学生は団本部付けの女性班に所属し、主に式典での司会進行や各種行事での広報活動等に従事していただいております。



スポーツイベントでの団員募集啓発活動(郡山市)



ふくしま消防防災出前講座事業の様子(郡山市)



また、令和5年度には県主催の出前講座事業で、救命救急を学ぶ専門学生に対し消防団活動について講義を行い、身近なボランティアとして学生団員も募集していることと説明した結果、21名の学生に入団していただきました。

学生団員には、通常の消防団活動はもちろんですが、同世代の横の繋がりを活用した勧誘や若い世代への消防団活動の周知にも期待をしているところであります。

市においても、令和5年10月に郡山市学生消防団員活動認証制度を創設し、学生の入団

を促進するとともに、学生の就職活動を支援しております。

これらの取組みの効果もあり、令和6年11月1日現在の学生団員数は32名(うち女性11名)となっております。

2 各種イベントでの団員募集の取組み

市内で開催されるスポーツイベントや、防災イベントでの団員募集啓発活動に加え、市主催のこどもまつりでは消防団ブースを設置し、こどもたちに消火体験(水鉄砲的当て)をしてもらう等、消防団活動を知ってもらう機会を創出し、ひとりでも多くの方に消防団に入団していただけるよう取り組んでおります。

3 今後の展望について

人口減少、少子高齢化等の影響により、消防団員数は今後も減少していくことが推測されますので、安定的に組織を運営していくためにも、持続可能で効率的な消防団組織について検討していくことに加え、学生も含めた若年層の団員確保に努めていくことが必要であると考えております。

また、新規に入団した団員が、継続的に活動を続けていけるような魅力のある消防団を目指すとともに、今後も多種多様な団員確保の取組みを地道に続けていきたいと考えております。



団員募集チラシ(郡山市)



消防団員が誇りを持ち活動できる 環境を目指して

愛媛県 松山市消防団

1 松山市消防団の紹介と現況

松山市消防団は1団1本部・9方面隊・41分団で構成されており、令和7年4月1日現在、2,471名（定員2,551名・充足率96.8%）が在籍し、団員数は平成21年から17年連続で増加しています。

平成17年からは、全国に先駆けて機能別消防団員制度を導入し、郵政消防団員を採用しました。

現在は、事業所団員、学生団員、島しょ部女性団員、マスター団員（OB・OG団員）を加え、5つの機能別団員を採用しています。

また、大規模災害時の備えとして、基本団員で構成する赤バイ隊と機動重機隊を編成しており、中でも機動重機隊は、令和6年7月に本市で発生した土砂災害の現場で消防局と

連携した救助活動を行い、要救助者の早期発見に貢献しました。

本市消防団は、これまで機能別団員の導入や機動重機隊の創設をはじめとする様々な取組により、消防団を充実強化してきました。

2 令和6年度の加入促進への取組

（1）地域との連携強化

消防団員が、自主防災組織の訓練で防火指導や救命講習を行うとともに、訓練に参加した地域の子どもたちに消防団の存在を知ってもらうためにPRブースを設けています。

また、市立小中学校に協力を依頼し、授業等の機会で防火講話や放水体験等を13分団が18校に対して行い、消防団員と約4,000名の児童や生徒が交流する機会を創出しています。



令和6年11月17日
松山大学第36回熟田津祭 消防団PRステージ



(2)学生団員の確保

学内でのリーフレットの配布や説明会の実施、学園祭に消防団ブースの出展などPR活動を行うことで、令和6年度には120名を超える学生の入団に繋げています。

(3)地元プロスポーツチームとの連携

本市にホームスタジアムを構えるJリーグ『愛媛FC』と連携し、コラボグッズの作成やPRブースの出展、消防団チアリーダー(愛媛大学トラスターズ)のパフォーマンス、公式戦でのピッチへの放水を法被姿の消防団員が行うなど、約4,000名の観客が集まるスタジアムでPRすることで、松山市消防団の認知度向上につながることを期待しています。

(4)広報手段の多様化

令和6年12月、新たに消防団専用のインスタグラムのアカウントを開設し、学生団員が作成したショート動画をアップするなど、学

生目線で感じた『消防団の魅力』を若い世代に向けて発信しています。

③ 今後の展開

松山市消防団では、若い世代や新たな層の獲得に向け、消防団に対する理解を深めることやイメージアップを図るため、SNSなどを活用した広報で『松山市消防団』の魅力を発信するとともに、団員一人一人がやりがいや誇りを持って活動できる環境づくりを進め、加入促進につなげていきたいと考えています。



令和6年9月7日
「愛媛FC」ホームゲームのハーフタイム 消防団PRピッチ放水

第26回全国女性消防操法大会運営委員会を開催

(公財)日本消防協会

令和7年4月18日(金)日本消防協会において、第26回全国女性消防操法大会運営委員会が開催され、大会の「基本方針」について協議した結果、次のとおり決定されました。

第26回全国女性消防操法大会基本方針

1 目的

女性消防隊の消防技術向上と士気の高揚を図り、もって地域における消防活動の充実に寄与することを目的とする。

2 日時

令和7年10月28日(火)午前9時から(雨天決行)

3 会場

横浜赤レンガ倉庫イベント広場
神奈川県横浜市中区新港一丁目1番

4 主催

消防庁、公益財団法人日本消防協会

5 協力

神奈川県、横浜市、公益財団法人神奈川県消防協会

6 大会運営委員及び審査員

別表のとおり

7 運営方法

(1) 都道府県応援席
都道府県応援席の収容人員は、40人を目安とする。

(2) 観覧エリア
海側に大型モニターで会場の様子が視聴できるベンチ席を設置する。

(3) ライブ配信
大会の様子(中継用カメラで撮影した映像)をYouTube等でライブ配信する。

(4) 防災展・物産展
実施しないこととする。

8 出場隊

(1) 都道府県消防協会が推薦する女性消防隊(消防団員を含む。)とする。

(2) 1隊7名とする。

9 消防操法

(1) 軽可搬ポンプ操法とする。

(2) 5人操法とする。

(3) 手びろめによる二重巻ホース1線延長とする(ホース3本)。

(4) 標的を使用し放水を行う。

(5) 収納は省略する。

10 使用機械器具

D-I級軽可搬ポンプ一式

11 審査

(1) 審査長は、消防庁消防大学校長とする。

(2) 副審査長は、消防庁国民保護・防災部地域防災室長とする。

(3) 審査員は、公益財団法人日本消防協会において指名する。

(4) 審査基準は、前回大会(第25回全国女性消防操法大会)に準ずるものとして、公益財団法人日本消防協会において定める。

(5) 審査内容については非公開とする。

(6) 審査に対する苦情等は、一切受理しないこととする。

(7) 大会日において、競技中に降雨等の不順な天候があっても、審査には考慮しないものとする。

(8) 各隊の操法タイム及び総得点を公表する。

12 表彰

(1) 12位までを表彰する。

(2) 優勝1隊(内閣総理大臣賞・日本消防協会会长賞)

(3) 準優勝2隊(消防庁長官賞・日本消防協会会长賞)

(4) 優秀賞3隊(日本消防協会会长賞)

(5) 優良賞6隊(日本消防協会会长賞)

(6) 優秀選手賞10名(日本消防協会会长賞)

13 その他

今後の状況変化に対応して、変更が必要と考えられる事態となった時は、大会運営委員会において協議する。

第26回全国女性消防操法大会運営委員及び審査員
(別表)

大会運営委員

大会運営委員長	日本消防協会理事長	北崎 秀一
大会運営副委員長	消防庁消防大学校長	羽生 雄一郎
〃	日本消防協会常務理事	米澤 健
運営委員	消防庁総務課長	笹野 健
〃	消防庁国民保護・防災部 地域防災室長	福西 竜也
〃	消防庁消防大学校副校長	日高 真実
〃	横浜市消防局長	佐々木 功喜
〃	神奈川県消防協会会长	野本 敏明
〃	日本防火・防災協会 振興部長	福留 早巳
〃	横浜市中消防団副団長	黒柳 祥子

審査員

審査長	消防庁消防大学校長	羽生 雄一郎
副審査長	消防庁国民保護・防災部 地域防災室長	福西 竜也
審査員	日本消防協会の指名する者	26名

今後のスケジュール

実施日	実施事項等	実施場所
4月18日(金)	第26回全国女性消防操法大会運営委員会	日本消防会館 (6F役員会議室)
5月22日(木) 23日(金)	審査員・業務部研修会	東京臨海広域防災公園
6月26日(木) 27日(金)	都道府県指導員研修会	東京臨海広域防災公園
8月28日(木) 29日(金)	審査員研修会	東京臨海広域防災公園
9月下旬 ~10月上旬	横浜市支援消防職団員 打合せ会議	詳細未定
10月26日(日) 27日(月)	大会会場設営	横浜赤レンガ倉庫 イベント広場等
10月27日(月)	大会リハーサル及び事 前訓練 審査事項確認会議	横浜赤レンガ倉庫 イベント広場等
10月27日(月)	激励交流会	大さん橋ホール
10月28日(火)	第26回全国女性消防操法大会	横浜赤レンガ倉庫 イベント広場等

実施日及び実施場所については、予定であり変更する場合があります。

消防育英会支援自動販売機の設置状況について

(公財)消防育英会

消防育英会支援自動販売機は平成26年度の事業開始以来、総務省消防庁をはじめ、全国の消防本部、消防署、消防団を中心に計537台が設置されています。(令和7年3月末日現在)

1 消防育英会の支援

消防育英会では、消防活動により死亡又は障害を負われた一般協力者又は消防職団員の子弟に対して、学校生活に必要な奨学金や入学一時金の給付などの支援を行っています。

現在、小学校に未就学の子弟もいることから、消防育英会の資金を今後も継続的に確保する必要があります。

2 支援自販機事業の仕組み・使用用途

消防育英会の資金を少しでも確保するための飲料水等販売業者との共同事業で、消太くんのロゴの入った自動販売機を設置していくだくと、その売り上げの一部(一本につき2円)が飲料等販売業者から消防育英会に寄付されるものです。

飲料水の販売価格は、飲料水等販売業者と設置していただく消防本部や消防署等との協議により決めていただき、従来の販売価格を変えることなく設置することができます。

ご支援いただいた寄付金は、奨学金の給付及びその他運営に必要な経費として活用させていただいております。

3 飲料水等販売業者(順不同)

アサヒ飲料(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、みちのくコカ・コーラボトリング(株)、北陸コカ・コーラボトリング(株)、沖縄コカ・コーラ

ボトリング(株)、ダイドードリンコ(株)、サントリービバレッジソリューション(株)、東京キリンビバレッジサービス(株)、ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)、みちのくキャンティーン(株)、ボランティア・ベンダー協会、(株)伊藤園、東京ヤクルト販売(株)、大館ヤクルト販売(株)、FVジャパン(株)、大塚製薬(株)熊本支店、(株)レイカ、(株)ユカ、(株)佐藤総業、沖縄ボトラーズ(株)、(株)サン・ベンディング、(株)ベネフレックス、ナショナル・ベンディング(株)、関東フーズサービス(株)

以上25社(令和7年4月1日現在)

4 設置のご相談

設置を検討されたい場合は、各販売業者に直接ご連絡いただくか、消防育英会にご連絡ください。設置の条件などについて個別にご相談をさせていただき、ご希望に合う販売業者をご案内いたします。

この売上の一部は
消防育英会を通して
消防殉職者遺児の
支援に
役立てられます

消防殉職者の遺児を
応援しています。

TEL: 03-6263-9748
Mail: ikuei_info@nissho.or.jp

消防育英会奨学金等の改定について

(公財)消防育英会

近年における諸物価の上昇及び類似団体の奨学金の動向も踏まえ、奨学金及び入学一時金の金額を改定し、奨学生及び奨学生の保護者の学資負担の軽減を図るとともに、向学心を更に助長するため、令和7年4月1日より奨学金等の額を改定いたしました。

消防育英会の支援

消防育英会は、国民が消防活動に従事し、又は協力したため災害を受けて死亡し、又は障害を負われた、いわゆる一般協力者及び公務上の災害により死亡し、又は障害を負われた消防団員又は消防職員の子弟に対して、学校生活に必要な奨学金や入学一時金の給付などの支援を行っています。

令和6年度の全国の奨学生(小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校に在学)は111名(うち東日本大震災関係39名)でした。

奨学金等の額の改定

単位:円

	奨学生区分		令和6年度	令和7年度
奨学金(月額)の改定	大学生	自宅外通学	41,000	47,000
		自宅通学	29,000	33,000
	高校生	自宅外通学	23,000	27,000
		自宅通学	18,000	20,000
	中学生		10,000	12,000
	小学生		9,000	11,000
	大学等		120,000	140,000
	高 校		50,000	60,000
入学一時金(額)の改定	中学校		50,000	60,000
	小学校		50,000	60,000

本会の奨学金には競輪事業の収益があてられています。



消防団「基本技能向上訓練」を実施しました

滋賀県 野洲市消防団

滋賀県野洲市消防団では、2月16日(日)に『第3回消防団基本技能向上訓練』を実施しました。これまでにゴムボートを使用した「水難救助訓練(第1回)」、大型油圧救助器具やジャッキ、バークなどを使用した「震災対策対応訓練(第2回)」など、地域状況に即した災害想定訓練を年間3回実施し、資器材取り扱い技術の能力向上を目的に行ってています。

この度の第3回目訓練は「長距離ホース延長送水訓練」です。この訓練は、樹木が生茂る林野部での実戦的な訓練と平野部で実施する訓練を隔年で交互に行ってています。

昨年度実施した林野部での訓練では、ポンプ車が近づけない場所での活動想定を基に、付近を流れる河川を堰き止めた自然水利とため池を利用した水利の両方を確保利用し、元ポンプを小型動力ポンプとした場合でのホース延長要領やその特性、またその性能を検証するとともに、同年に導入した電動ホースカーも活用しその活動検証も行いました。

今回は、消防署の平坦な敷地で7台のポンプ車が中継送水隊形をとり、約800mのホース延長からの放水を試みました。また、消防庁舎や訓練塔の屋外階段を利用し、突発的なホースの破損による応急措置や機関操作でのトラブル回避を主眼に実施しました。

訓練後は、機関側(ポンプ運用)、中継側、放水側で振り返りの検討会を行い、疑問や問題点など活発な意見交換を行いました。

過去に広範囲な山林火災を経験した当市消防団は、その教訓から山火事を想定した訓練を定期に行い、防火線を築くためのチェーンソー技能講習を開催するなど有事に備えています。

地域防災力の中核である当市消防団は、今後も消火技術の向上をはじめ、あらゆる災害に対応するため技能向上に取り組みます。



福岡市中央消防団春吉分団・福岡市消防局中央消防署 消防団員 英会話学ぶ

福岡県 福岡市中央消防団・福岡市消防局中央消防署

「災害時に外国人旅行者や在留外国人も取り残さず救いたい」

中央消防団春吉分団及び福岡市消防局中央消防署は令和6年6月30日、福岡市消防局中央消防署で英会話教育を開催しました。本教育は春吉分団の自主企画で、外国人の方たちに対して救助活動や救急活動に対応できる英語を学ぼうと、1分団1署、25人が参加しました。

講師として米国アイダホ州出身で福岡市在住の英会話講師をお招きし、身体部位の名称や傷病者に呼びかけるフレーズなどの英語を教育していただきました。参加者も講師に合わせて発音するなど、多くの質問も活発に飛び交い有意義な教育となりました。

春吉分団は福岡市中央区の繁華街に位置し、外国人観光客が多い地域であります。このような街で暮らす春吉分団長は外国人観光客と接する機会も多いことから外国語習得の必要性を日頃から感じていました。管内の外国人留学生専用のアパートでぼや火災があり、「もし、負傷者が出ていたら言語の壁が原因で救えなかった、というのは許されない」と危機感を感じ、英会話教育が実現したものです。

教育後、春吉分団長は団員らが片言でも、ためらわずに英語を話せるようになるのが目標で、今後も定期的に教育を開催したいと決意を新たにし、英会話教育は終了しました。



講師による英会話教育



消防団・消防署合同教育

2025年度全国統一防火標語・防火ポスターの発表

総務省消防庁 予防課

消防庁では、家庭や職場・地域における防火意識の高揚を図ることを目的として、一般社団法人日本損害保険協会との共催で防火標語を作成しております。2025年度全国統一防火標語については、

「**急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし**」
に決定いたしました。

この標語は、住宅防火対策等を推進する2025年度の春・秋の全国火災予防運動等で防火標語として活用されるほか、タレントの田畠志真さんがモデルとなる全国統一防火ポスターなどに活用されます。

このポスターは20万枚作成され、全国の消防署や役所などの公共機関等に掲出されます。

防火ポスターの歴史

防火防災の意識向上を目的として、1949年度から「全国統一防火ポスター」の制作が始まり、1979年度からポスターモデルにタレントを起用しています。これまでに数多くの芸能人が防火ポスターのモデルとなっています。ポスターをきっかけに各界で活躍している方は多く、人々の関心の高さがうかがえます。

また、防火標語は、誰にでも伝わりやすい言葉が使われています。

過去の標語

● 2024年度

守りたい 未来があるから 火の用心

● 2023年度

火を消して 不安を消して つなぐ未来

● 2022年度

お出かけは マスク戸締り 火の用心

● 2021年度

おうち時間 家族で点検 火の始末

● 2020年度

その火事を 防ぐあなたに 金メダル



2025年度全国統一防火ポスター

ポスター モデル 田畠 志真さん

コメント

素敵な先輩方が務められている、防火ポスターに出演できること、とても嬉しいです。私たちが生活する上で火は欠かせないもの。私も声に出して「消した!!」と確認するように心がけています。小さな心がけと注意で火事を防ぐことができると思うので家を出る前にもう一度確認し、大切な命を守れるように気を付けたいです。

プロフィール

2017年より芸能事務所フームに所属。2024年度後期NHK連続テレビ小説「おむすび」では、ヒロイン 米田結の幼なじみ佐久間菜摘(さくま・なつみ)役として出演。

令和6年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式の開催

総務省消防庁 地域防災室

令和7年3月5日(水)、中央合同庁舎二号館地下2階講堂(東京都千代田区)において令和6年度防災功労者消防庁長官表彰式及び消防団等地域活動表彰式が開催されました。

【防災功労者消防庁長官表彰】 (10団体)

風水害等の自然災害において、顕著な活動実績が認められる消防団を表彰しました。

○代表受領

山形県 南陽市消防団



防災功労者消防庁長官表彰受賞団体

【消防団等地域活動表彰】 (消防団表彰48団体、事業所表彰23団体)

平常時の活動により地域防災力の向上に寄与し、全国の模範となる消防団や、団員確保について特に力を入れている消防団、更には、消防団員である従業員を雇用しているなど、消防団活動に特に深い理解や協力を示している事業所等を表彰しました。

○代表受領

(消防団表彰)長野県 川上村消防団
(事業所表彰)千葉県 成田市農業協同組合



消防団等地域活動表彰(消防団)受賞団体



消防団等地域活動表彰(事業所)受賞団体

【受賞者代表謝辞】

受賞者を代表して、石川県能登町消防団の新谷正仁さんから謝辞をいただきました。



石川県 能登町消防団 新谷 正仁 氏

○受賞団体一覧

【防災功労者消防庁長官表彰】 (10団体)

岩 手 県	大船渡市消防団
山 形 県	南陽市消防団
山 形 県	高畠町消防団
福 島 県	いわき市消防団
石 川 県	輪島市消防団
石 川 県	珠洲市消防団
石 川 県	能登町消防団
長 野 県	豊丘村消防団
岐 阜 県	各務原市消防団
宮 崎 県	西都市消防団

大 阪 府	枚方市消防団
大 阪 府	松原市消防団
大 阪 府	大東市消防団
奈 良 県	高取町消防団
和 歌 山 県	橋本市消防団
和 歌 山 県	白浜町消防団
岡 山 県	美作市消防団
岡 山 県	久米南町消防団
徳 島 県	神山町消防団
徳 島 県	徳島市消防団
愛 媛 県	宇和島市消防団
高 知 県	南国市消防団
佐 賀 県	鳥栖市消防団
熊 本 県	長洲町消防団
宮 崎 県	都城市消防団
宮 崎 県	小林市消防団
鹿児島県	日置市消防団
鹿児島県	南九州市消防団

【消防団等地域活動表彰(消防団)】 (48団体)

北 海 道	南空知消防組合由仁消防団
宮 城 県	仙台市若林消防団
宮 城 県	塩竈市塩竈消防団
福 島 県	会津若松市消防団
福 島 県	郡山市消防団
栃 木 県	下野市消防団
群 馬 県	高山村消防団
群 馬 県	片品村消防団
埼 玉 県	鴻巣市消防団
埼 玉 県	越谷市消防団
千 葉 県	習志野市消防団
千 葉 県	長生都市広域市町村圏組合消防団
東 京 都	品川消防団
東 京 都	武蔵村山市消防団
新 潟 県	長岡市消防団
新 潟 県	魚沼市消防団
富 山 県	魚津市消防団
福 井 県	嶺北消防組合あわら消防団
福 井 県	鯖江・丹生消防組合越前消防団
山 梨 県	甲府市消防団
山 梨 県	韮崎市消防団
長 野 県	安曇野市消防団
長 野 県	川上村消防団
長 野 県	辰野町消防団
岐 阜 県	高山市消防団
三 重 県	伊勢市消防団
三 重 県	川越町消防団
滋 賀 県	大津市消防団
滋 賀 県	彦根市消防団
京 都 府	南丹市消防団

【消防団等地域活動表彰(事業所)】 (23団体)

北 海 道	株式会社藤城建設
北 海 道	道東あさひ農業協同組合
青 森 県	株式会社下館組
岩 手 県	龍振鉱業株式会社
山 形 県	株式会社カネト製作所
福 島 県	株式会社ファルテック福島工場
栃 木 県	株式会社栗山山本建設
千 葉 県	成田市農業協同組合
東 京 都	株式会社世田谷サービス公社
神 奈 川 県	学校法人柳下学園やまゆり幼稚園
新 潟 県	株式会社吉田建設
福 井 県	福井県農業協同組合敦賀支店
山 梨 県	南アルプス市農業協同組合
岐 阜 県	株式会社岡山工務店
岐 阿 県	明光化成工業株式会社
愛 知 県	株式会社中神種苗店
三 重 県	松阪看護専門学校
京 都 府	京北森林組合
徳 島 県	株式会社群生
愛 媛 県	株式会社富久
福 岡 県	アイギスセキュリティ株式会社
佐 賀 県	伊万里市農業協同組合
鹿 児 島 県	株式会社井川産業

e-カレッジによる防災・危機管理教育

総務省消防庁 防災課

防災・危機管理 e-カレッジ

(提携先: <https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>)



「防災・危機管理 e-カレッジ」は、インターネット上で、いつでも、誰でも、無料で防災の知識や災害時の危機管理について学習ができるサイトです。

下記の動画を新たに追加しましたので、ご活用いただきますようよろしくお願いします。

<https://www.fdma.go.jp/relocation/e-college/>



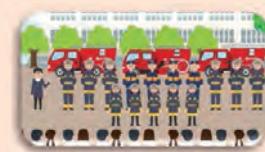
○下掲の「子ども向け」のページを下にスクロールしていくと、右記の動画を見つけることができます。



○下掲の「一般の方向け」のページを下にスクロールし、「共助」のタブをクリックすると、右記の動画を見つけることができます。



未来の消防団員へ 地域防災教育・ 団員の加入促進 ～消防団×学校がタッグ～



「御用聞き」がつなぐ 防災教育 ～新潟県長岡市の将来にわたって 続けられる防災教育支援～



『命の矢印』プロジェクト ～支援が必要な方と 一緒に実行する合同避難訓練と、 防災を身近にする取り組み～



1. 「防災・危機管理e-カレッジ」の目的

「防災・危機管理e-カレッジ」は、住民の方々などにインターネット上で防災・危機管理に関する学びの場を提供することを目的としています。過去の災害を知り、災害への備えを事前に学習することは、防災・減災に取り組むうえで有効です。

2. コンテンツの概要

掲載しているコンテンツは、以下のとおりです。

● 子ども向けコンテンツ(対象: 幼年~小学生)

台風や津波などへの備えに関してクイズ形式で学べる動画となっているため、保護者の方もお子様と一緒に、災害のことや身を守る方法などについて考えていただきたいと思います。

● 一般の方向けコンテンツ(対象: 中学生以上)

自然災害や火災などから命、くらしを守るためにぜひ知っておきたいことが盛り込まれています。

令和7年4月には、上記の図のとおり、「学校と地域が連携した防災力向上に関する取組」の3本の動画を追加しました。これらは、防災・減災・防火対策等の優れた取組を表彰する「防災まちづくり大賞」において、近年、総務大臣賞や消防庁長官賞を受賞した取組を題材にした動画です。災害に強い安全なまちづくりのための取組を検討する際に、ぜひご参考ください。

● 市町村長向けコンテンツ(対象: 市町村長等)

「全国防災・危機管理トップセミナー」の講演資料や「市町村長による危機管理の要諦」、「災害対応事例集」を掲載しています。自治体の防災・危機管理関係の職員の方々にも的確な災害対応を行うために役立つものですので、ぜひご覧ください。

風水害に対する備え

総務省消防庁 防災課

我が国では、毎年、台風や梅雨前線等の影響による多量の降雨があり、全国各地で洪水や土砂災害等の風水害が発生しています。

昨年は、例えば、9月20日頃から、日本海から東北地方付近に停滞した前線により、東北地方から西日本にかけて広い範囲で大雨となりました。特に、石川県の多いところでは同9月20日から22日までの総降水量が500ミリを超えて、平年の9月の月降水量の2倍を上回るなど、北陸地方や東北地方の日本海側で記録的な大雨となりました。この大雨により、土砂災害や河川の氾濫、低地の浸水などが発生し、道路やガス、水道等のライフライン、農業や観光業等地域の産業に大きな被害をもたらしました。



石川県輪島市での救助活動

■ 洪水

流域に降った多量の雨水が河川に流れ込み、特に堤防が決壊すると、大規模な洪水被害が発生します。

また、上流で増水した水が下流に到達するまでに時間差があるため、雨が降り止んだとしても洪水は発生します。

■ 土砂災害

土砂災害とは、大雨や地震などが引き金となり、山や崖が崩れたり、土砂が雨などの大量の水と混ざり合って一気に流れたりする自然災害です。道路の陥落や道路への土砂の崩落、橋梁の崩落などにより多数の孤立地域が発生するおそれがあるほか、停電、断水等のライフラインへの被害や鉄道の運休等の交通障害が発生するなど、住民生活に大きな支障が生じます。

■ 局地的な大雨による災害

近年、局地化、集中化、激甚化した降雨により多大な被害が生じています。また、都市化に伴い、中小河川の急な増水や氾濫による床上・床下浸水等の被害、地下空間への浸水害、アンダーパス(※)への浸水による車の立ち往生等の被害が生じる事例が多く見受けられます。

※アンダーパス：交差する鉄道や他の道路などの下を通過するために掘り下げられている道路などの部分。周囲の地面よりも低くなっているため、大雨の際に雨水が集中しやすい構造となっています。

■ 早めの避難が命を救う

風水害では、逃げ遅れにより甚大な被害が発生します。逃げ遅れが起きるのは、危険が迫っていてもなかなか実感ができず、自分は被害に遭わないだろうという思い込みに陥ってしまうからです。「まだ避難しなくても大丈夫」ではないのです。また、「近所の人が誰も避難していない」からではなく、自ら積極的に避難することが重要です。各自治体が公開しているハザードマップ等を普段から確認し、自らが、いつ、どこに避難するか、事前にルールを決めておきましょう。

■ 最近の災害を踏まえた動向

令和3年7月3日に静岡県熱海市で発生した大規模な土石流災害では、個人情報保護条例との関係を整理した上で、積極的に氏名等公表を行い、広く情報を募った結果、本人や知人から連絡があったことで救助対象者の絞り込み、救助活動の効率化に繋がりました。

その後、個人情報を取り巻く環境が変化する中で、令和5年3月には、「発災当初の72時間が人命救助において極めて重要な時間帯であるため、積極的な個人情報の活用を検討すべき」旨などを規定した「防災分野における個人情報の取扱いに関する指針」が公表されました。

また、気象庁では、「線状降水帯」によって引き起こされる大雨災害が多発していることを背景として、令和4年6月から、線状降水帯による大雨の可能性を半日前から伝える予測情報の発表を始めており、早めの備え、早めの避難に繋がることが期待されています。

令和7年度(第41回) 防火ポスターコンクール図案募集のお知らせ

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会は、令和7年度の火災予防運動に配布する防火ポスター作成にあたり、全国の小学生・中学生から図案を募集いたします。

募集要項は下記のとおりです。たくさんのご応募をお待ちしております。

記

1 対象

全国の小学生(4年生以上)・中学生

2 応募規定

(1) 募集の趣旨

火災予防に対する意見や考えをポスターに表現した図画で、**令和7年度全国統一防火標語「急ぐ日
も 足止め火を止め 準備よし」**をイメージした図案とします。

(2) 作品の形態

ア 用紙は、市販の画用紙(四切)、縦書きとします。

イ 画材は自由ですがパソコンやスマートフォンなどのペイントソフト等を使用した作品は審査対象外とします。

ウ 図案は防火標語に合致するものとし、未発表のものに限ります。既にポスター等で使用されたものは除きます。

エ 採用作品には、防火標語を印刷させていただきますので、図案のみのデザインとしてください。

※ 防火標語のような文字(デザインに係る文字と判断できるものを除く。)が入っている図案は、図案そのものを審査対象外といたしますのでご注意ください。

オ 作品の裏面には、都道府県名・市(区)町村名・学校名・学年・氏名(ふりがな)を付してください。を記載してください。

(3) 応募方法及び提出期限

在住する都道府県の消防協会(支部)へ問い合わせてください。ただし、すべての消防協会が募集事務を行っているものではないことを予めご承知願います。また、当共済会への直接応募はご遠慮願います。

(4) 表彰

入賞者(佳作以上)には、次の区分に応じて表彰状及び記念品を贈呈します。

① 最優秀賞 1名(5万円相当の記念品を贈呈)

* 最優秀賞受賞者の在籍する学校には、10万円相当の記念品を贈呈します。

また、最優秀賞受賞者、保護者1名・学校関係者1名を令和7年12月下旬に全日本消防人共済会(東京都港区)で開催の表彰式にご招待いたします。

② 優秀賞 2名(2万円相当の記念品を贈呈)

③ 佳作 若干名(5千円相当の記念品を贈呈)

④ 参加賞 当共済会で審査対象となった入賞者以外の作品のみとします。(記念品贈呈)

(5) 発表

令和7年9月下旬頃、本人に連絡するとともに、全日本消防人共済会ホームページ及び(公財)日本消防協会機関誌「日本消防」「いきいき消防」に掲載します。

(URL <http://www.shouboujin.or.jp>)

尚、最優秀賞に選ばれたポスターは、全国統一防火の文字を入れて全国の消防関係機関等へ配布いたします。

3 その他

(1) 当共済会に推薦された作品は、審査後に返却します。

(2) 詳細につきましては、全日本消防人共済会ホームページをご確認ください。

令和7年度(第25回)「防火防災に関する」作文コンクール作品募集のお知らせ

(生協)全日本消防人共済会

生活協同組合全日本消防人共済会の主催による令和7年度(第25回)「防火防災に関する」作文コンクールの作品を募集いたします。

募集要項は下記のとおりです。たくさんのご応募をお待ちしております。

記

1 対象

全国の中学生

2 作文のテーマ

「皆さんとともに、地域を守る消防団」(※作文のタイトルは自由とします。)

3 応募規定

(1) 募集の趣旨

自分の仕事を持しながら地域防災のため日夜活動している消防団について、中学生の視点で表現された作文を募集いたします。

(2) 応募用紙等

ア 400字詰め原稿用紙を使用して800字以上1200字以内(学校名や名前は文字数に含めません。)

イ 自作で未発表のものに限ります。

(3) 応募方法及び提出期限

在住する各都道府県の消防協会(支部)へ問い合わせてください。ただし、すべての消防協会が募集事務を行っているものではないことを予めご了承願います。また、当共済会への直接応募はご遠慮願います。

(4) 表彰

入賞者(佳作以上)には、次の区分に応じて表彰状及び記念品を贈呈します。

① 最優秀賞 1名(5万円相当の記念品を贈呈)

* 最優秀賞受賞者の在籍する学校には、10万円相当の記念品を贈呈します。

また、最優秀賞受賞者、保護者1名・学校関係者1名を令和6年12月下旬に全日本消防人共済会(東京都港区)で開催の表彰式にご招待いたします。

② 優秀賞 2名(2万円相当の記念品を贈呈)

③ 佳作 若干名(5千円相当の記念品を贈呈)

④ 参加賞 当共済会で審査対象となった入賞者以外の作品のみとします。(記念品贈呈)

(5) 発表

令和7年10月下旬頃、本人に通知するとともに、全日本消防人共済会ホームページ及び(公財)日本消防協会機関誌「日本消防」「いきいき消防」に掲載いたします。

(URL <http://www.shouboujin.or.jp>)

4 その他

(1) 当共済会に提出された作文は、返却しません。

(2) 詳細につきましては、全日本消防人共済会ホームページをご確認ください。

全日本消防人共済会は、皆様の安心を守るため、
素早い補償実施に心掛けますと共に、
火災予防事業に率先して取り組みます。



消防団幹部職章・ 消防団員章のご案内

日本消防協会では、消防団の階級に応じた職章を定め、幹部の皆さんができるよう販売を行っています。

※制服用と私服用の2種類あります。消防団員の皆様ができる消防団員章も作製しています。

制服用（団長）



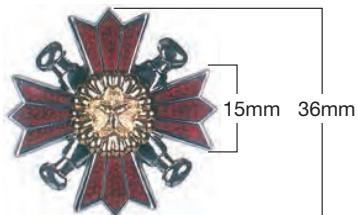
私服用（団長）



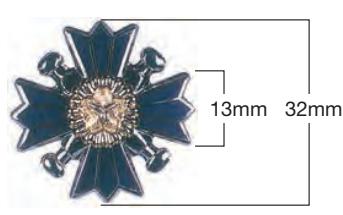
公益財団法人 日本消防協会

制服用

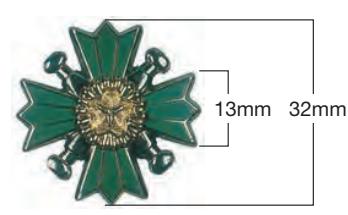
団長



副団長



分団長



私服用

団長



副団長



分団長



セット品

団長



副団長



分団長



仕様

- 菊花、消防団章……円形の菊花の中央上部に消防団章を配す。
- 矢羽根……………菊花の周囲に各3枚1組の矢羽根を垂直上部を基点とし90度ごとに十字状に配す。
- 管そう……………各矢羽根と矢羽根の間を二等分する位置に十字状に配す。
- 丹銅製・七宝焼き仕上げ・桐箱入り

価格

団長

制服用	6,800円
私服用	7,330円
セット価格	12,570円

副団長・分団長

制服用	5,760円
私服用	6,280円
セット価格	10,470円

▲消費税は含まれております。

職章を着用する位置

制服(団長)

階級章の
中央上部とし、
職章の下部が
階級章より
概ね5mm離れた
位置とする。



私服(団長)

左襟飾り穴に
取り付け、
飾り紐を襟裏に
まわし止める。



消防団員章 デザイン・仕様



プラスチックケース

(スポンジ入り
紙スリーブ付き)

価格830円／個
(消費税を含む)

- 直径17mm (消防団幹部職章と同程度の寸法)。
- 消防団員章にふさわしい格調高いデザインです。
- 下層:円形台座に矢羽根と管そうを配しました。
- 上層:菊花の中央上部に消防団章を配しました。
- 菊花および消防団章は銀メッキ仕上げです。
- 矢羽根の色は、消防のシンボルカラーとして「水」の水色。鮮明に浮き立つ仕上げです。
- 材質は真鍮製、ニッケルメッキ仕上げです。
- プラスチックケース入り(金箔文字入り)。
- 消防団員章を着用する位置は左襟飾り穴に取り付けます。

消防団幹部職章 お申込み書

●お申し込みの職章の個数をご記入ください。

年 月 日

	団長	副団長	分団長
制服用	個	個	個
私服用	個	個	個
セット	個	個	個

消防団員章 お申込み書

●お申し込みの団員章の個数をご記入ください。

年 月 日

消防団員章	個
-------	---

必要事項をご記入ください。

都道府県	消防団名	ご担当者名
所在地 (送付先)	〒	
TEL	FAX	
請求書宛名		

【お申し込み方法】FAX または封書にて都道府県消防協会へお申し込みください。

お問い合わせ先： 公益財団法人 日本消防協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号

TEL:03-6263-9809 FAX:03-6263-9805

<https://www.nissho.or.jp/>

消防団の活動を支援する

公益財団法人

日本消防協会

JAPAN FIREFIGHTERS ASSOCIATION

オリジナル商品



公益財団法人 日本消防協会 <https://www.nissho.or.jp>

日本消防協会は、消防団員、消防職員及び地域において自主的に消防防災活動を行う者の福祉厚生、消防施設設備等の改善充実、消防知識技能の向上、消防防災思想の普及徹底等により、消防活動の強化、地域防災の向上等を図り、もつて国民生活の安全、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的として数多くの事業を行っている団体です。

【事務所】TEL03-0001 東京都港区虎ノ門2丁目9番16号
TEL03-6263-9401(代)
【会館管理室】TEL03-6263-9809

消防団活動等への支援

日本消防協会は、消防団員等の消防技術向上や士気高揚を図ることを目的として、消防団幹部や幹部候補を対象とした特別研修や、毎年交互に「全国消防操法大会」と「全国女性消防操法大会」を開催しています。また、優良消防団(職)員の表彰や、大規模災害が発生し、多数の消防団員が長期間にわたり災害活動に従事した場合には、災害対策支援金又は非常用食料を交付して活動を支援するなど、積極的な消防団活動等への支援を行っています。

肌ストレスを軽減
吸汗速乾 UPF50+



左胸デザイン

日消／火の用心
エアライドTシャツ

商品番号 サイズ

01 S

02 M

11965 - 03 L

04 XL

05 XXL

税込価格 ￥2,940

●カラー:ネイビー

●素材:ポリエステル100%



NEW

日消／火の用心
前掛け

商品番号

11967 - 01

税込価格 ￥3,800



スマホや
メモ帳に入る
大きなポケット付



NEW



展开イメージ

日消／火の用心 湯呑

商品番号

11968 - 01

税込価格 ￥1,480

●サイズ:直径7.1cm×高さ9.5cm ●容量:
250ml ●材質:ストーンウェア



なかなかみつからない
大容量タイプ



表

■収納目安／
名刺50枚

日消／縦桜吹雪
名刺入れ

商品番号

11969 - 01

税込価格 ￥2,900

NEW

●サイズ:(収納時)縦7cm×横10.5cm×
厚さ1cm ●材質:PULレザー、マグネット

裏

表

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

表

裏

日消／ネクタイピン桜

商品番号 カラー

10026 - 01 レッド

税込価格 ￥1,140

●サイズ:長さ5cm

●材質:真鍮ニッケルメッキ



ラッカーエボ
仕上げ

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

●

ご自分のアイテムをプラスして
オリジナルの緊急防災セットに!!

日消／エマージェンシーボトル／
5点セット

商品番号 税込価格

11116 - 01 ￥990

●サイズ:(ボトル)直径7.3cm×高さ18.8cm

ホイッスル

緊急時に自分の
位置を知らせる
必需品



LEDハンディライト

夜間に必要な光を確保

※単4×3個電池(別売)



カラビナキーホルダー

ウォーターボトルを
ベルトやバッグに

装着



アルミブランケット

コンパクトな
防水・防風・

保温シート

ウォーターボトル

飲料水の確保に



容量
600ml



公益財団法人 日本消防協会公認グッズ

JAPAN FIREFIGHTERS ASSOCIATION



公益財団法人日本消防協会 TEL.03-6263-9401 FAX.03-6263-9863 <https://www.nissho.or.jp>

日本消防協会は、消防団員、消防職員及び地域において自主的に消防防災活動を行なう者の福祉厚生、消防施設設備等の改善充実、消防知識技能の向上、消防防災思想の普及徹底等により、消防活動の強化、地域防災の向上等を図り、もって国民生活の安全、社会公共の福祉の増進に寄与することを目的として数多くの事業を行なっている団体です。

【消防団活動等への支援】 公益財団法人日本消防協会は、消防団員等の消防技術向上や士気高揚を図ることを目的として、消防団幹部や幹部候補を対象とした特別研修や毎年1回に「全国消防操法大会」と「全国女性消防操法大会」を開催します。また、優良消防団(団)の表彰や、大規模災害が発生し、多数の消防団員が長期間にわたり災害活動に従事した場合には、災害対策支援金又は非常用食料を交付して活動を支援するなど、積極的な消防団活動等への支援を行なっています。

オリジナルウェア・グッズも製作いたします。名入れ加工なども行っておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。公費・大量購入にも対応いたしますのでご相談下さい。

Rising vol.37 95

うちの

名物団員



札幌市豊平消防団 副団長

河井 園子

河井副団長は、剣道歴は約36年、「教士七段」の腕前の持ち主です。週に4回、道場で少年剣道の指導をしており、小中学生とともに、汗を流しています。

消防団では、竹刀を管槍に持ち替えて、副団長として、豊平区内の安心・安全を守るため尽力しています。

令和8年度に札幌開催を予定している第31回全国女性消防団員活性化北海道大会では、運営委員として、大会を大いに盛り立ててくれることを期待しています。



涌谷町消防団 副団長

手嶋 一郎

涌谷町消防団からは、手嶋一郎副団長を紹介します。手嶋副団長は、自身の涌谷園芸ファームで、40種類以上1万鉢のシクラメンと、2万鉢のイングリッシュラベンダーを栽培し全国へ出荷しています。以前は東北鉢物生産組合の組合長も務めるなど、生産者として品質にこだわるのはもちろん、花卉産業の活性化にも取り組んでいます。

また、消防団員のほか、農業委員も努めるなど、地域貢献に力を入れ、地元からの信頼が厚い消防団員です。



杉戸町消防団 第5分団 分団長

飯塚 久雄

飯塚分団長は、飯塚園芸を営んでいます。

飯塚園芸の主力商品は「ネコクサ」です。健康をサポートしてくれるネコクサは、杉戸町の観光施設の道の駅「アグリパークゆめすぎと」に卸しており、大変な人気商品となっています。

また、飯塚分団長は、火災があればすぐに出動されますが、一緒に働いている(?)猫たちは、きっとさみしい思いや心配をしているので、無事に帰宅し、猫たちを安心させてください。



甲斐市消防団 団員

堀口 正彦

甲斐市消防団からは堀口正彦団員を紹介します！

団歴43年の大ベテランで、その知識や経験は常に後輩団員の参考になっています。

また、所属部での活動に加えて、ラッパ隊員を兼任しており、毎週2回熱心に練習に参加しています。式典や行事で団員の士気高揚に貢献しているほか、近年では積極的にイベントに参加し、消防団のPRに尽力されています。

地域の防災委員、獣友会と、多方面に大活躍の堀口団員。地域で活躍するその姿勢は後輩団員が受け継いでいきたいです。



飯山市消防団 副団長

清水 伸和・中村 周一

飯山市消防団からは清水伸和副団長と中村周一副団長を紹介します。

清水副団長は有限会社雪国を経営しており、おが粉の販売からぶなしめじの生産、運送業、冬季は除雪を行っており、地域の産業、社会に貢献しています。

中村副団長は建築板金業を経営しており、普段は屋根や雨樋の板金工事、冬季は屋根雪の除雪を行っています。雪深い飯山市において住宅を雪から守るため活躍されています。

清水副団長、中村副団長のお二人は団員指導、育成にも大きく尽力し、「自分たちの地域は自分たちで守る」精神を後輩団員へ受け継ぐため活動しています。



清水副団長



中村副団長

笠岡市消防団城見分団 団員

高橋 康之



笠岡市消防団からは、高橋康之団員を紹介します。高橋団員は、地元の電力会社の職員として働いています。消防団ではラッパ隊にも所属しており、消防団で培った経験を活かすため防災士としても活躍しています。また、休日にはカメラを片手に様々な所に赴いて写真を撮っておりその腕はすでにプロ並みです。そんな多彩な趣味の高橋団員の今後の活躍に期待しています。



消防団の広場

山梨県 「地域を守るために」

甲斐市消防団
団長

幡野 耕二



甲斐市は、甲府盆地の中西部に位置し、北部の中山間地域と、南部の住宅地と農地が混在する平坦な市街化地域という、異なった2つの顔を持っています。富士山や八ヶ岳、南アルプスの山々が優美な姿をみせる眺望は本市を代表する景観となっています。

甲斐市消防団は、平成16年9月1日に3町の合併に伴い発足しました。現在は9分団で編成しており、465人の団員が在籍しています。災害対応のほか、日頃の水利、機械器具点検や夜間パトロール、地域のイベント協力など、幅広く活動しています。

近年、本市は大規模災害には見舞われていませんでしたが、昨年夏には、午後8時過ぎから降り始めた雨が急激に勢いを増し、一部地域では1時間に100mmを超える降雨があり、気象庁から記録的短時間大雨情報が発表されました。



消防本部との合同放水訓練

市街地で内水氾濫が発生し、複数の家屋で床上、床下浸水があったほか、市道では水流でアスファルト舗装が剥がれ、流出する被害がありました。そのような状況の中で、夜遅くからの招集にもかかわらず、多くの団員が出動し、被害箇所の応急復旧や危険箇所を回避するための交通整理に努めていただきました。近年、激甚化していると言われる豪雨災害ですが、今回の大雨では身をもって実感するとともに、災害時に率先して活動する消防団員を見て、この組織を持続させていかなければならないと、その思いをより強くしたところです。

大雨にしても、今後「生まれて初めて」「滅多にない」ことが当然のように起こるかもしれませんし、近い将来、南海トラフ巨大地震は確実に発生するとされています。その際には、地域に根差した消防団の数の力が必要不可欠であると考えています。

本市消防団においても、全国的な流れと同様に団員数が減少しています。地域コミュニティの意識変化も原因の一つとされています。消防団の維持のため、消防団の長い歴史に基づいた伝統を重視しつつ、次世代の担い手の価値観に合わせた消防団活動を模索する毎日です。



水難救助訓練

2025年度 全国統一防火標語

「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

令和7年6月・7月の日本消防協会関係行事

6月13日(金)	奨学生選考委員会(消防育英会)
6月19日(木)	正副会長会議(日本消防協会)
	理事会(全日本消防人共済会)
6月20日(金)	臨時理事会、定時評議員会(日本消防協会)
	総代会(全日本消防人共済会)
6月24日(火)	定時評議員会(消防育英会)
6月25日(水)	全国消防殉職者遺族会監事監査(日本消防協会)
7月2日(水)	「山火事など世界災害」国際会議
7月24日(木)～25日(金)	奨学生懇談会(消防育英会)

編集後記

桜の季節も足早に過ぎ去り、少し寂しい気持ちになっていましたが、気付けば街中に色とりどりの花々を見かける様になり、元気を取り戻しました。編集担当のT.Kです。

5月は気候も穏やかで、花々が一斉に咲き誇る素敵な季節だと思います。私の地元ではさつきが市花となっており、毎年5月後半には「さつき祭り」という市民・行政が一体となった祭りが行われます。消防署も車両の展示を行っており、集まった子ども達がはしご子車から高く伸びる梯子を見上げ、ワイワイ喜んでいたのを思い出します。

祭りといえば、日消の研修生には神田祭がなじみ深いものです。この祭りは京都の祇園祭、大阪の天神祭とともに、日本の三大祭に数えられます。宿舎が近いことなどから、参加した思い出のある研修生OBの方々も多いのではないでしょうか。

祭りは地域の繋がりを強固にし、防災力向上に繋がる力があると聞いたことがあります。祭りの準備などを通してお互い顔見知りになり、災害時の助け合いに繋がる。自然災害が多い我が国の先人達が繋いでくれた、素晴らしい文化だと思います。みな様の街にはどんな祭りがありますか?



購読募集

購読を希望される方は、(公財)日本消防協会へお問い合わせください。

※ 年間購読料(送料込) 2,508円
(問合せ先) 総務部企画担当 03-6263-9496

寄稿のお願い

皆さまの消防団活動への取組み、ご意見などをもとに、より充実した有意義なものにしていきたいと考えておりますので、多数のご寄稿をお待ちしています。

Eメールでも受け付けしています。 kikou@nissho.or.jp

月刊「日本消防」第七十八巻第五号
令和七年五月五日印刷
令和七年五月十日発行

編集人 米澤 健
発行所 (公財)日本消防協会
印刷所 東京都港区虎ノ門二一九一十六
電話 ○三(6263)九四〇一(代)
電話 ○三(3549)五六〇〇
東京都中央区銀座七一六一二
株式会社アイネット

消防人の
火災共済

風水雪害等共済金
補償倍率UP
300倍から 750倍へ



まさかの時お役に立ちます。
**掛金25口、2,500円 (56%以上の焼損)
火災共済金375万円のお支払い**

地震等災害見舞金付
1500倍補償

B型火災共済 消防団 消防本部 每に皆で加入

掛金は、5口500円から5口毎、25口2,500円まで選択できます。

落雷の損害
にも対応!!

建物と動産の配分は常に4:1とする契約となります。

お申し込みは、所属の消防団担当から都道府県支部（消防協会）へ。



ひまわりしているか
ひのようじん

お支払対象

- 火災共済金 火災・落雷・爆発・破裂
- 風水雪害等共済金 風災・水災・雪災・車両飛び込み・航空機墜落等
- 地震等災害見舞金 地震・津波・噴火

生活協同組合 全日本消防人共済会 TEL 03-6263-9822
詳しくはホームページをご覧ください <http://www.shouboujin.or.jp/>

消防団員・消防職員だからこそ加入できる

消防個人年金

積立金には予定利率（年1.25%）、配当率が適用されます。

老後生活に向けた
計画的な財産形成
が可能です。

月払の場合、
毎月一万元（ゆうちよ
銀行は五千円）から
ご加入いただけます。

給付金の受取りは、
年金（6種類）又は
一時金からご選択
いただけます。

途中で脱退しても、
積立金（脱退一時金）
が受け取れます。

税制適格コースは
個人年金保険料控除
自由選択コースは
一般の生命保険料控除
の対象となります。

消防団員、消防職員
の退団・退職後も
継続できます。

（パンフレット・加入申込書のお取り寄せ、お問い合わせ先）
公益財団法人 日本消防協会 年金共済部

0120-658-494 平日 9:00~17:00

お問い合わせ先

各市町村の消防事務担当者または消防本部消防団事務担当者、都道府県消防協会

（公）日本消防協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号
TEL.(03)6263-9401（代表）
[https://www.nissho.or.jp](http://www.nissho.or.jp)